

本ツールに関する注意事項（三菱UFJ信託銀行）

- 本ツールは、投資信託による運用をシミュレーションするツールです。本ツールは、情報提供を目的としており、個別銘柄の投資信託の勧誘等を目的としたものではありません。
- 「投資信託」は国内外の株式および債券等値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動することによってお受取金額が投資元本を下回ることがあります（基準価額の変動要因には、信用リスク、流動性リスク、外貨建資産に投資する場合は為替変動リスク等もあります）。
- 本情報の内容に関しては、万全を期しておりますが、三菱UFJ信託銀行株式会社は、その情報の正確性を保証するものではなく、また、予告なく変更されることがあります。
- 本ツールおよび本情報を利用した結果、被ったとされるいかなる損害についても、三菱UFJ信託銀行は一切責任を負いません。
- 本情報を方法の如何を問わず第三者へ提供することはできません。
- 本ツールは、お客様の入力内容によって、表示される情報やシミュレーション結果が変わります。表示される情報やシミュレーション結果は、お客様の入力内容と本ツールに設定された前提によるものですが、あくまで、お客様が投資をするにあたっての検討材料として提供するものであり、三菱UFJ信託銀行株式会社が、お客様の投資判断に関して責任を負うものではありません。
- 本ツールの未来シミュレーションでは、お客様の目標年齢時の金融資産残高（目標額）について、投資資産の収益の変動特性等様々な可能性を考慮し、お客様のリスク許容度に応じた一定の制約条件のもと、目標年齢時における目標額に対する不足額が最小となる資産配分を提示します。これらの資産構成は、参考のために表示するものであり、標準的なものとして推奨するものではありません。
- 本ツールのポートフォリオ分析では、投資スタイルごとに資産構成（ポートフォリオ）を表示します。これらの資産構成は、「三菱UFJバランス・イノベーション」の債券重視型、株式抑制型、株式重視型、新興国投資型の4つのバランスファンドを参考に作成したものです。当該資産構成は、参考のために表示するものであり、標準的なものとして推奨するものではありません。三菱UFJバランス・イノベーション」は、三菱UFJ信託銀行株式会社の投資助言・情報提供に基づき、三菱UFJ国際投信株式会社が運用を行う投資信託です。
- 本ツールでは、お客様の金融資産を全て投資信託で運用した場合のシミュレーションを行います。実際の投資にあたっては、一定金額を預金等流動性の高い資産で運用することをお勧めいたします。
- 実際に投資信託をご購入いただく際には、窓口若しくはインターネットバンキングでお客様のご意向を詳しく確認させていただきますので、シミュレーション結果に表示されるファンドをご購入いただけない場合がございます。
- リスク等に関するご説明
本ツール購入提案画面掲載の商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じる恐れや解約に制限がある場合があります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスク等については、以下リンク先に記載されておりますので、ご確認下さい。投資信託に関するご留意事項は、こちらです。<https://www.tr.mufg.jp/ippan/riskinfo/toushin.html>

商号等：三菱UFJ信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長（登金）第33号
加入協会：日本証券業協会 一般社団法人 金融先物取引業協会
一般社団法人 日本投資顧問業協会

本ツールに関する注意事項（モーニングスター）

- 本ツールに関する著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar,inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本ツールは、投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としてはいません。又、モーニングスター株式会社が基準日時点で信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。これらの情報によって生じたいかなる損害についても、モーニングスター株式会社は一切の責任を負いません。
- 本ツールは、基準日時点のものであり、将来予告なく変更・中断することがあります。

1. シミュレーションの前提について

(1) 「未来シミュレーション」の場合

お客様が許容するリスクの水準と価格変動リスク（標準偏差）の水準に応じて、国内株式、海外株式、国内債券、海外債券、国内リート、海外リートの6資産の組合せ（資産配分）を400種類定義し、目標年齢時における目標額に対する不足額が最小となる資産配分を表示しています。

(2) 「ポートフォリオ分析」の場合

投資スタイルは、許容するリスクの水準に応じて、「債券重視型」「株式抑制型」「株式重視型」「新興国投資型」と4つのスタイルを定義しています。

またそれぞれに関して、国内株式、海外株式、新興国株式、国内債券、海外債券、新興国債券の6資産の組合せを価格変動リスク（標準偏差）の水準に応じて、4パターン作成し表示しています。

各資産の比率は下表のとおりです。小数点第1位未満を四捨五入しておりますので、合計が100%にならないことがあります。

	債券重視型	株式抑制型	株式重視型	新興国投資型
国内株式	5.0%	7.0%	14.5%	11.5%
海外株式	5.0%	7.0%	14.5%	11.5%
新興国株式	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%
国内債券	77.0%	73.0%	58.0%	23.2%
海外債券	13.0%	13.0%	13.0%	21.2%
新興国債券	0.0%	0.0%	0.0%	21.2%

なお、投資スタイル別資産構成の作成に際し、「三菱UFJバランス・イノベーション」（三菱UFJ国際投信）の債券重視型、株式抑制型、株式重視型、新興国投資型の4つのバランスファンドを参考にしております。「三菱UFJバランス・イノベーション」は、三菱UFJ信託銀行株式会社の投資助言・情報提供に基づき、三菱UFJ国際投信株式会社が運用を行います。

2. 「投資プラン作成」バランス型ファンド一覧の表示について

未来シミュレーション

ポートフォリオ分析

2021年6月時点の三菱UFJ信託銀行取り扱いファンドからバランス型ファンドを抽出表示しています。今後変更になる場合がございます。

3. 「投資プラン作成」個別ファンド選択の資産別購入銘柄一覧(シミュレーション)の表示について

(1) 「未来シミュレーション」の場合

2021年6月時点の三菱UFJ信託銀行取り扱いファンドを主な投資対象資産別に7資産(※1)に分類、表示しています。今後変更になる場合がございます。

(※1) 「国内株式」「海外株式」「国内債券」「海外債券」「国内リート」「海外リート」「その他」

(2) 「ポートフォリオ分析」の場合

2021年6月時点の三菱UFJ信託銀行取り扱いファンドを主な投資対象資産別に11資産(※2)に分類、表示しています。今後変更になる場合がございます。

(※2) 「国内株式」「海外株式」「国内債券」「海外債券」「グローバルリート」「新興国株式」「新興国債券」「ハイイールド債券」「絶対収益追求型」「コモディティ」「その他」

4. 投資プラン作成画面の「購入銘柄自由検索」について

ポートフォリオ分析

以下の項目については、本ツールでお客さまが選択した投資信託について表示しています。

当該データは、信頼できると判断した情報源から入手した情報を基にモーニングスター株式会社が作成しておりますが、データの正確性ならびに完全性についてモーニングスター株式会社が保証するものではありません。

当該データは過去の一定期間の実績を基に分析したものであり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

また、税金や手数料等を全て考慮しているものではありませんので、お客さまの実質的な投資成果を示すものではありません。

●トータルリターン/リスクマップ

・選択した投資信託の各計算期間における過去の実績を基に表示しています。

ここで表示される投資スタイルのリターンとリスクは、資産配分チャートに示された構成資産と各資産クラスの期待収益率、価格変動リスクを基に算出した理論値であるため、過去実績に基づいて算出された個別投資信託とは単純に比較できないことにご留意ください。

投資信託の運用期間が表示期間に満たない場合、該当商品のリスク・リターンはトータルリターン/リスクマップ上には表示されません。

・リスク(年率、%)は、各表示期間における月次収益率の標準偏差を年率換算して算出しています。選択した投資信託の過去の運用実績に基づくものであり、将来のリスクを予測あるいは保証するものではありません。

・トータルリターン(年率、%)は、各計算期間における収益率を年率換算して算出しています。なお、選択した投資信託の過去の運用実績に基づくものであり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。

●シャープレシオ

シャープレシオはリスクに見合ったリターンが得られているかを表す指標です。シャープレシオの数値が大きい方が、ファンドのとったリスクに対してリターンが大きい、つまり効率よくリターンを上げている、優れた運用がなされていると評価されます。なお、シャープレシオは投資対象により大きく変化する可能性がありますので、できるだけ投資対象が同一のファンド間で比較する必要があります。

5. 購入銘柄一覧(シミュレーション)の「チャート比較」について

ポートフォリオ分析

以下の項目については、本ツールでお客さまが選択した投資信託について表示しています。

当該データは、信頼できると判断した情報源から入手した情報を基にモーニングスター株式会社が作成しておりますが、データの正確性ならびに完全性についてモーニングスター株式会社が保証するものではありません。当該データは過去の一定期間の実績を基に分析したものであり、将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。また、税金や手数料等を全て考慮しているものではありませんので、お客さまの実質的な投資成果を示すものではありません。

●チャート

選択した投資信託を各表示期間当初から保有していると仮定して算出しています。

投資信託の運用実績が各表示期間に満たない場合、設定来から保有していると仮定して算出しています。

6. 「リスクリターン」について

(1) 「未来シミュレーション」の場合

●期待リターンと価格変動リスク(標準偏差)の計算

期待リターンと価格変動リスクは、資産配分チャートに記載された資産(「国内株式」「海外株式」「国内債券」「海外債券」「国内リート」「海外リート」)について三菱UFJ信託銀行が独自に算出した期待リターン、価格変動リスク(標準偏差)、相関係数をもとに算出しております。

(2) 「ポートフォリオ分析」の場合

●期待リターンと価格変動リスク(標準偏差)の計算

期待リターンと価格変動リスクは、通貨・資産・地域配分チャートに記載された資産(「国内株式」「海外株式」「国内債券」「海外債券」「グローバルリート」「新興国株式」「新興国債券」「ハイイールド債券」「絶対収益追求型」「コモディティ」「その他」の11資産)および通貨(米ドル、英ポンド、ユーロ、豪ドル、カナダドル、ブラジルレアル、台湾ドル、香港ドル、中国元、スイスフラン、スウェーデンクローナ、ニュージーランドドル、南アフリカランド、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、メキシコペソ、トルコリラ)を代表する指標を用いてモーニングスター株式会社が独自に算出した期待リターン、価格変動リスク(標準偏差)、相関係数をもとに同社が算出しております。各資産の期待リターンはビルディングブロック方式を用いて算出しており、価格変動リスク(標準偏差)と相関係数は各市場、通貨を代表する指標を用いて算出しています。投資スタイル、投資プラン反映前後ならびに各資産や通貨の期待リターン、価格変動リスク(標準偏差)、相関係数等の数値は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、将来的に変動する可能性があり、将来実現することを保証するものではありません。また税金や手数料等を考慮しておらず、投資家の皆様の実質投資成果を示すものではありません。

※上記に分類されない資産は「その他」、通貨は「N/C」(分類不明)に区分され、計算の対象から除かれます。

※「投資対象地域(株・リート)(債券)」の表示内容は、期待収益と価格変動リスク(標準偏差)の計算に考慮していません。

●期待リターン

ある資産について将来にわたる運用から獲得することが期待できる平均的な収益率を推計したものであり、将来の運用利回りを保証するものではありません。投資する資金に対して、どれくらいの収益が見込めるかを示したもので、推計する方法としてヒストリカルデータ方式、ビルディングブロック方式、シナリオアプローチ方式などの推計方法があります。

●価格変動リスク（標準偏差）

収益率の平均値に対して上下にどれだけ振れる可能性があるかを示す統計的数値のことです。運用や投資の世界でリスク、リターンという場合のリスクは標準偏差のことを指します。一般的にリスクが少ないほど安定的な運用と言われます。

●相関係数

2つの資産の間に見られる値動きの関係を表す数値のことです。-1から+1までの範囲で表示され、+1に近いほど、同じような値動きを示す傾向が強く、-1に近い場合は、反対の値動きを示す傾向が強いことを表します。

【各市場や通貨を代表する指標および各指標の期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出のための過去データ使用期間】

●国内株式

東証株価指数（TOPIX、配当込み）：東証一部上場銘柄を対象とした指数で、株式会社東京証券取引所が算出、公表しています。
なお、期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は1970年1月から2020年12月までです。

●海外株式

MSCI-KOKUSAインデックス（配当込み、ヘッジなし/ヘッジあり、円ベース）：MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。当該指数に関する著作権等知的財産権は、MSCI Inc.に帰属します。期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は2011年1月から2020年12月までです。

●国内債券

NOMURA-BPI総合指数：野村證券株式会社が公表している公社債の指数で、日本の公募利付債市場全体の動きを表す債券の投資収益率指数です。NOMURA-BPI総合指数に関する著作権等知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社又はその許諾者に帰属します。期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は1970年1月から2020年12月までです。

●海外債券

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし/ヘッジあり、円ベース）：FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。当該指数に関する著作権等知的財産権は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は2011年1月から2020年12月までです。

●グローバルリート

S&P先進国REIT指数（含む日本、ヘッジなし/ヘッジあり、円ベース）：S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが公表している世界のリートの投資収益率指数です。S&P先進国REIT指数に関する著作権等知的財産権は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は2011年1月から2020年12月までです。

●新興国株式

MSCIエマージング株式指数（配当込み、ヘッジなし/ヘッジあり、円ベース）：MSCI Inc.が開発した指数です。世界の新興国の株式市場の値動きを表す代表的な株価指数であり、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。当該指数に関する著作権等知的財産権は、MSCI Inc.に帰属します。期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は2011年1月から2020年12月までです。

●新興国債券

JPMorgan EMBIグローバル・ダイバーシファイド指数（ヘッジなし/ヘッジあり、円ベース）：JPMorgan社が開発・算出・公表している世界の新興国の債券市場を表す代表的な指数のひとつです。新興国の債券の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。一か国あたりの組み入れ比率に制限が設けられています。期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は2011年1月から2020年12月までです。

●ハイイールド債券

ICE BofAグローバル・ハイイールド指数（ヘッジなし/ヘッジあり、円ベース）：ICE Data Indices LLCが算出、公表する世界のハイイールド債券の値動きを示す代表的な指数です。当該指数に関する著作権等知的財産権は、ICE Data Indices LLCに帰属します。期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は2011年1月から2020年12月までです。

●コモディティ

ブルームバーグ・コモディティ・インデックス（ヘッジあり、円ベース）：ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（ブルームバーグ）が公表しているコモディティの指数で、世界のコモディティ市場全体の動きを表す投資収益率指数です。ブルームバーグ・コモディティ・インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はブルームバーグに帰属します。期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は2008年1月から2020年12月までです。
また、期待リターンとして2020年12月のOECD消費者物価指数を使用しています。OECD消費者物価指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はOECDに帰属します。

●絶対収益追求型

NOMURA-BPI国債指数：野村證券株式会社が公表している国債の指数で、日本の国債市場全体の動きを表す債券の投資収益率指数です。NOMURA-BPI国債指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社又はその許諾者に帰属します。期待リターン、価格変動リスク（標準偏差）算出の期間は2011年1月から2020年12月までです。

●通貨

通貨（米ドル、英ポンド、ユーロ、豪ドル、カナダドル、ブラジルレアル、台湾ドル、香港ドル、中国元、スイスフラン、スウェーデンクローナ、ニュージーランドドル、南アフリカランド、インドネシアルピア、インドルピー、韓国ウォン、ロシアルーブル、メキシコペソ、トルコリラ）については、2011年1月から2020年12月までの対円での月次騰落率から価格変動リスク（標準偏差）を算出しています。また、期待リターンは2020年12月の短期金利です。各通貨の対円での月次騰落率と短期金利はモーニングスター株式会社が適切と思われるデータソースから取得したものです。

なお、相関係数は各資産の2011年1月から2020年12月までのデータにより算出しています。

7. シミュレーション結果（予想資産残高） 未来シミュレーション

お客さまの入力情報（積立期間、積立額）と投資スタイルで運用した場合の金融資産残高を表示しています。
予想資産残高が上ブレから下ブレの間に収まる確率は50%です。また、予想最低残高は、1%程度の確率で発生する可能性があります。

8. 投資プラン確認画面の「資産・通貨・地域配分」について 未来シミュレーション現在の資産状況と投資プラン確認画面の「資産・通貨・地域配分」について ポートフォリオ分析

以下の項目については、投資プラン反映前後の残高の合計における各項目の比率を表示しています。資産配分チャート、通貨配分チャート、投資対象地域（株・リート）／（債券）チャートの区分については、下記のルールによりモーニングスター株式会社による判断のもとに、適当であると考えられる区分への分類が行われています。

- ①投資信託は主に月次運用レポートに基づいて区分しています。なお、月次運用レポートが交付されていない等の場合には、その投資信託受益証券の参考指標の属性情報類をもつて通貨別比率を代替する場合があります。
- ②投資対象資産として金融派生商品を含んでいる場合等、保有している金融商品の特性により適切な通貨別区分が行えない場合は、その保有資産残高の全額または一部を「その他」に区分する場合があります。
そのため、厳密な通貨別区分比率が表示されているものではありません。

(1) 資産配分チャート

投資プラン反映後の合計残高を、未来シミュレーションについては「国内株式」「海外株式」「国内債券」「海外債券」「国内リート」「海外リート」「その他」の7資産に、ポートフォリオ分析については「国内株式」「海外株式」「国内債券」「海外債券」「グローバルリート」「新興国株式」「新興国債券」「ハイイールド債券」「絶対収益追求型」「コモディティ」「その他」の11資産に区分し、各々の比率をチャートに表示しています。なお、保有資産残高を各資産に配分するにあたっては、下記のルールにより算出しています。

- ①ポートフォリオ分析については、外貨預金、海外債券は「海外債券」もしくは「新興国債券」、海外株式は「海外株式」もしくは「新興国株式」に区分しています。
- ②投資信託の基本資産配分比率等にしたがって投資金額・積立額や保有資産残高を各資産別に按分し、その価額を該当する資産に区分しています。
- ③「その他」には、「その他」を除く上記各資産に含まれない投資対象（現預金や金融派生商品等を含む）に区分された残高ならびにその特性上「その他」資産を除く各資産による資産区分が適切ではないと判断される商品の残高の合計価額を表示しています。
そのため、厳密な資産別配分比率が表示されているものではありません。

(2) 通貨配分チャート

投資プラン反映後の合計残高を24通貨（※1）に区分し、それを11種類の通貨（※2）に集約して、各々の比率をチャートに表示しています。

チャート表示（※2）	集約前（※1）	チャート表示（※2）	集約前（※1）		
日本円	日本円	中国	台湾ドル	香港ドル	中国元
米ドル	米ドル	その他先進国	ニュージーランドドル	スイスフラン	
英ポンド	英ポンド		スウェーデンクローナ	その他先進国通貨	
ユーロ	ユーロ	その他新興国	インドネシアルピア	南アフリカランド	韓国ウォン
豪ドル	豪ドル		インドルピー	ロシアルーブル	トルコリラ
カナダドル	カナダドル		メキシコペソ	その他新興国通貨	
ブラジルレアル	ブラジルレアル	N/C	その他外貨	N/C（分類不明）	

(3) 投資対象地域（株・リート）/（債券）チャート

株式とリートに投資を行っている資産の地域別比率と債券に投資を行っている資産の地域別比率との2つに区分して表示しています。そのため、投資対象地域（株・リート）と投資対象地域（債券）の各々の図における投資対象地域の比率の合計値はそれぞれが100%となります。なお、投資プラン反映後の合計残高を各地域に配分するにあたっては、下記のルールにより算出しています。

- ①外貨預金、海外債券は「債券」に区分され、投資対象通貨が流通している地域へ投資を行っているものとして区分します。国内債券は「債券」に区分され、投資対象地域は「日本」に区分して表示しています。
- ②海外株式は「株・リート」に区分され、投資対象通貨が流通している地域へ投資を行っているものとして区分します。国内株式は「株・リート」に区分され、投資対象地域は「日本」に区分して表示しています。
- ③投資信託は主に月次運用レポートに基づいて区分しています。なお、月次運用レポートが交付されていない等の場合には、その投資信託受益証券の参考指標の属性情報をもとて投資地域別配分比率を代替する場合があります。
- ④投資対象資産として金融派生商品を含んでいる場合等、保有している金融商品の特性により適切な地域別区分が行えない場合は、その保有資産残高の全額または一部を「その他」に区分する場合があります。
そのため、厳密な投資地域別配分比率が表示されているものではありません。

投資対象地域(株・リート)/(債券)チャートの配色は資産割合に応じて下記の通り表示しています。

投資割合	0%～1%未満	1%～5%未満	5%～15%未満	15%～30%未満	30%以上
配色	灰色	薄橙色	橙色	桃色	赤色

<ご利用環境について>

本ツールは以下の環境でのご利用を推奨しております。

Windows10 - Internet Explorer 11, Microsoft Edge, Google Chrome, Mozilla Firefox

macOS - Safari

iOS - Safari, Google Chrome

Android - Google Chrome

モーニングスター株式会社

【2021年6月30日現在】